

千葉県我孫子市立湖北小学校では、「未来を、世界を志向しつつ、何をしても
らうかではなく、今自分に何ができるのかを考え、具体的な行動に移すことが生き
た学習となる」という観点から昨年よりユニセフ活動に取り組んでいます。全校
をあげてのユニークな取り組みのようすをご紹介します。

世界の子どもたちにみんなの気持ちがとどく

バザーを通してのユニセフ活動

湖北小学校では毎年11月に「湖北小祭り」が行われ、バザーが開かれます。昨年、児童は
自宅にあるシートでぞうきんを作ったり、古い油からせっけんをつくったりしてそれを販売し、
その収益金をユニセフに募金しました。

今年度は「世界に目を向けよう」というスローガンを決め、バザーで販売するものも学年ご
とに違うものにするなど、それぞれが工夫してユニセフ活動にさらに積極的に取り組みました。



6年生は街頭募金にもチャレンジしました。

各学年の取り組み内容

各学年ごとに自分たちでできることや自分たちで作れるものを一生懸命に考えて、バザーで
売れるものと値段を決めました。



バザー会場でも募金を呼びかけました。

	作って売ったもの	売った値段
1年生	アサガオの種	(20粒) 10円
2年生	野菜のなえ	(2つ) 50円
3年生	ひまわりの種	(20粒) 10円
	手作り和紙	(1枚) 10円
4年生	ミッキーのぼうし	(1つ) 70円～
5年生	お手玉	(3つ) 70円
6年生	バザーグループ	
	ペン立て	(1つ) 20円
	サツマイモ	(1個) 10～90円
	コースター	(1つ) 10円
	募金グループ	



日本ユニセフ協会での募金贈呈

募金贈呈

このようにして全校の児童がそれぞれの作品を販売したバザーでの収益金は昨年の4倍にあ
たる16万円あまりにもなりました。この収益金を児童の代表が東京の(財)日本ユニセフ協会
に届けました。

みなさんからの感想

てし思1手お
このいるわま作1手マわ
ぼの、人たし和紙ワた
しほ、たしは10もりし
しいた、ちしは円紙る入の
です。た、全でも円ね
世界に役部売りも円まね
中自分立売らば売たふ
の分もれましてつるニ
人でもらこた作しセ
に買あまっ作したフ
にいうってり、動
役立まど

と買がたね
思いまおあ二
いたまたくとま年
ます。コニセフのぼ金をしたたい

たし切なサッ
ち私時三つミ作キそ
にた気ほ、たよで、も
との持っ、キ事、のら業
く、のち、で、に、に、
と、い、し、す、に、に、
い、ち、つ、た、う、い、
い、が、ば、気、し、が、
な、世、い、持、全、ゆ、
界、中、し、と、部、う、
の、た、う、売、く、な、
人、れ、れ、り、ら、ハ、

T・NET広場に
あなたの声を

T・NET通信はみなさんの声をどんととりあげ、より充実した紙面していきたいと考えて
います。学校でのユニセフ活動や「開発のための教育」の実践例をぜひお送りください。